



@ITOCHU_SDGS_STUDIO

ITOCHU SDGS STUDIO の公式Instagramで「こどもまんなか応援サポーター」としての取組みを配信しています。

I-通信
vol.1

★ 職域学童保育

「I-SUMMER SCHOOL」

こどもまんなか応援サポーター

上場企業第一号

2023年8月21日(月)～25日(金)

DAY 1



プログラム1日目

まずは「朝型勤務」を体験。軽食会場で自分の朝食を選んでから一日をスタート。会場には創業地である滋賀県協力のもと、当社が滋賀県立図書館へ寄贈した外国語を含む多くの本を用意し、英語をはじめとする外国語や文化に触れる機会を創出しました。

DAY 2



プログラム2日目

夏休みの宿題・自由研究のテーマとして取り上げられる機会が多いSDGs。5日間を通じてSDGsを様々な観点から学べる工夫をプログラムに施しました。この日はSDGs 15「陸の豊かさを守ろう」をテーマに、プランターにそれぞれの想いを描き、種を植え、持ち帰って自宅で作る体験をしました。

DAY 3



プログラム3日目

職場訪問KIDS DAY。パパ・ママのオフィスを見学。会社の仕事・歴史を学び、たくさんの社員と名刺交換をしました。名刺は当社の創業地 滋賀県の琵琶湖に群生するヨシ(=関東では葦)を約30%配合したものを用品、ヨシの働きや自然環境について勉強しました。100人のお友達ができました。

DAY 4・5



プログラム4・5日目

東京本社近隣の青山小学校の体育館をお借りし、みんなで遊びました。SDGs 7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、SDGs 14「海の豊かさを守ろう」をテーマに制作活動を行いました。



今後に向けて

多くの方から本プログラムに対する評価を頂きました。開催期間の延長・回数の増加・高学年の受け入れ、保育園児(I-Kids)の一時預かりとの連携など、レビューを踏まえ、次回プロジェクトの検討を行いたいと思います。

「こども“どまんなか”WEEK」の企画にあたって

子どもが小学生になると、長期休暇中の安全な居場所の確保や学習サポート、毎日のお弁当作りに悩んでいる、という社員の声から生まれました。本取組みは、新型コロナウイルスのワクチン職域接種を実施した際に、社員のみならずエッセンシャルワーカーである保育士や業務委託先の方々に拡大した経験が活かされました。学童を「職域」で行う大きなチャレンジでしたが、地域にも貢献していきたいという企業理念「三方よし」の精神にも沿って、近隣の港区立青山小学校の生徒も対象としました。また、このような取組みが世の中へ広がることを願い、その内容の詳細を日々当社公式Instagramで発信致しました。

なお、プロジェクト推進にあたっては、人事・総務部とサステナビリティ推進部/
Corporate Brand Initiative/広報部/開発・調査部が各部署の知見を持ち寄り、組織の壁を超えた有機的な運営、社内外への発信として行くことが出来ました。